

震災対策

来年度の防災モデル校は

佐賀小・中をセットで申請



議員 岩義 いわよし 藤本 ふじもと

工事契約18件、完了18件となつている。また、職員増は考へている。

問 黒潮町の防災教育マニュアルは作成するのか。防災教育モデル事業の成果と来年度佐賀小・中で実施の考へは。

答 坂本教育長

防災教育マニュアルは当面は作らないが、県教委の指導書を基に黒潮町の考へを補完し実施していく。防災教育モデル校は本年度、南郷小学校で実施、子どもたちや、保護者、地域住民の意識の向上がはかられた。
来年は、佐賀小・中学校をセットで申請していく。

問 子どもを預かる教育・保育施設の安全点検は行っているか、また危険箇所が見つかったときの対応を問う。今回報告のあった事故以外に起きていないか。「1件の重大事故の背景には、29の軽傷事故と300のヒヤリハットがある」というハイリハットの法則がある。未然に事故を防ぐため記録・情報の共有が必要。更に、今回事故のあった佐賀中学校体育館階段の改良工事はするのか。

答 金子教育次長

安全点検は、毎月教職員、所長が定期的に行っている。整備はその都度実施。施設の事故は大きなものは無い。「ヒヤリ・ハット」としたことの記録、情報の共有は重大事故を防ぐために必要と考へるので検討していく。体育館の階段は、建築確認の協議も必要なので検討していきたい。

「ゴールの設置ができないか。」

答 坂本教育長

関係機関と協議しながら検討していく。

町道整備
町道加持橋川線
整備は
計画的に実施する

問 町道加持橋川線は道幅も狭く路面もずたずた、ハンドルも取られ危険、全面舗装の考へは。

答 武政まちづくり課長

本年度に300m程度実施、来年度も予算要求をし、計画的に実施していく。

情報基盤
4局目の
再送信は
来年3月を目処に

問 民放4局目の再送信はいつか。

答 松本情報防災課長

来年3月を目処に交渉する。目処が立たない場合は新たな対応を考へる。

問 緊急防災・減災事業の進捗と防災職員地域担当制で挙げられてきた事業は整理できているか。また、職員増も考へているか。

答 大西町長

地域担当制で、5月～8月各地域の防災対策の洗い出しを行った。その結果、避難場所の整備は、168カ所、避難道295カ所あり、全箇所を整備するには平成28年度まで掛かる見込み。24年度の進捗は設計契約70件、完了6件、

教育行政
文教施設の
安全点検は
教職員が毎月実施

問 子どもたちの健全育成とスポーツ振興のために西南大規模公園佐賀東公園にサッカー



町道加持～橋川線危険箇所の一部